

## 九州豪雨被災地福岡県朝倉市へ防災翌日に職員派遣

問い合わせ 危機管理室 (☎028599)

### 避難所のニーズを調査し、水や衛生用品、冷房器具を届ける

活発な梅雨前線が停滞した影響で、7月5日に局地的な大雨に見舞われた九州。なかでも特別警報が発令された福岡県朝倉市では、河川が急激に増水し、冠水や土砂崩れが相次ぐなど多くの被害が発生しました。

この豪雨を受け、市は「大規模災害被災地支援に関する条例」に基づき支援を決定。被災状況の情報収集や医療活動の支援を行うため、6日午後には、市職員2人と認定NPO

法人AMDAの調整員2人が現地に到着して調査を行いました。

第1便のニーズ調査を基に、8日には第2便が現地入り。水や衛生用品、段ボールベッドなどを届けました。支援隊は、市と大規模災害時における支援に関する協定を締結している、NPO法人ピーク・エイドの代表理事を務める野口健さんとも合流し、支援活動を展開しました。

刻々と変化する避難者のニーズに対応するため、市から派遣した職員



水や食料、おむつなどの支援物資を積み込む市職員と AMDA の調整員 (第1便)



避難所となった朝倉市立杷木中学校で、支援物資を降ろす野口さんと市職員ら (第2便)

は延べ8人(7月13日現在)です。土砂災害や高梁川の増水による水害など、大雨がもたらす災害は総社市でもいつ起きるか分かりません。日ごろから非常用持ち出し袋の準備など、家庭での備えに努めましょう。

## ゴーン会長の方針を協同組合ウイングバレイへ報告

問い合わせ 商工観光課商工労政係 (☎028276)

### 「競争力があり、多くの挑戦を行う会社が生き残れる」

6月28日、三菱自動車のカルロス・ゴーン会長が来岡。倉敷市にある同社水島製作所を視察した後、総社市や倉敷市など関係自治体の首長と会談を行いました。

これを受け7月5日には、関連部品メーカーなどで作る協同組合ウイングバレイの事務所、加盟11社の代表者らに市長がゴーン会長の意向を報告しました。

市長は、「ゴーン会長が、軽自動車と普通車(RVR)について、水島製作所を生産拠点とし、今後3年

間で地元部品メーカーとの取引額を60%増やすと確約された。しかし、全ての会社がそれに値するとは言っていない。競争力のある会社、多くの挑戦をしていく会社のみが生き残れるということを肝に銘じてほしいと言われた」と説明しました。

晝田眞三理事長は、「ウイングバレイの企業間での情報交換は重要だと思う。これまでも厳しさのなかで、競争力を磨いてきたという自負はある。日産自動車側とも信頼関係を構築していきたい」と述べました。



市長から関係者へ伝達



Chuppieに暑中見舞いを書いてみませんか。もしかすると返事が届くかも！お楽しみに!!  
問い合わせ 子育て支援係 (☎028268)

郵便はがき  
切手 7191192

ちゅうおう  
中央1-1-1  
そうじゃくしよ  
総社市役所子ども課  
あ  
Chuppie宛て



## ガラス張り公開市長室昭和公民館の日程変更

先月号でお知らせしたガラス張り公開市長室の日程を一部変更します。

会場  
昭和公民館

変更後の日時  
8月16日(水)

午後7時から8時30分まで

音声聞き取りにくい人のために全会場で要約筆記を行います。皆さまのご参加と建設的なご意見をお待ちしています。

問い合わせ 秘書室 (☎028215)



昨年度開催されたガラス張り公開市長室

## 赤米文化の日本遺産再申請で3市町が合意

赤米文化を保存・継承する総社市と長崎県対馬市、鹿児島県南種子町の関係者らが集う赤米伝統文化連絡協議会が、6月24日にサンロード吉備路で行われました。3市町は今年2月、赤米まつわるストーリーの日本遺産認定申請を行いました。結果は認定見送りでした。そのため、会では今後の方針を検討。審査委員会からの評価を踏まえ、視野を広げて3地域につながるストーリーを練り直し、平成30年度の日本遺産認定を目指して文化庁に再申請することで合意しました。

問い合わせ 文化課文化財係 (☎028363)



会見後握手を交わす対馬市の桐谷雅宣副市長と南種子町の名越修町長、相川大使、片岡市長(写真右から)